

おたがいさんの関係を築き
「共に暮らせるまち ひこね」を目指します

社協



ひこね

つながり

を活かした

助け合い
支え合い



草刈りの依頼にメンバーが分担して活動しています

2024 6月

第228号

人と人がつながる助け 合い・支え合い

ふるさと体験教室

(高宮学区)

“おたがいさん”の気持ちが広がる地域づくりを進めるため、地域では困った時にちょっとした手助けをする『助け合い・支え合い活動』が広がってきています。

子どもから高齢者まで世代を超えて、地域のちょっとした困りごとをお手伝いし、対応・解決していく生活支援の活動を実践されています。活動には地域の明日を担う若い世代も加わり、活動の一翼を担っている姿も見られます。

市内での取り組みと、活動に携わっておられる方の声をご紹介します。

お手伝い亀山

(亀山学区)

少子高齢化が進みゴミ出しや草刈り、電球交換など地域のちょっとした困りごとを手助けする活動をスタートされた亀山学区。

誰かのためになることは、きっと自分の将来のこと。小さな「オモイ」が少しずつ「カタチ」になる、そんな思いで立ち上がった活動です。一緒に活動を担う若い人の活動への思いを紹介します。



田中さん

織田さん

ボランティアに興味がありました。もっとお年寄りの方に関わりたいです。気軽に若い子が来られる活動になると良いです。(田中さん)

助け合いをしたいと思いました。いろいろな経験をしてみたいと思います。同世代や大学生の人たちと一緒にやりたいです。(織田さん)

ちょこっとサポート城北

(城北学区)

「買い物へ行きたい」「文書の内容が分からない」「重い荷物が持てない」など、暮らしの中にある“ちょっと困った”こと。でも、“人には頼みにくい”ことがあります。

自分たちが暮らす地域の「助け合い」を考えてみると、運転免許証を返納して移動できない、一人暮らしで身近に頼れる人がいない、他人には迷惑をかけたくないなど、いろんな人がいて、いろんな困りごとがあることが分かってきました。そこで、令和6年2月から「お試し活動」を実践中！身近にいるコーディネーターやサポーターが「ちょっと助けて」の声に寄り添い、活動されています。

昨年6月の『助け合い支え合いフォーラム』をきっかけに、座談会で話し合い、「自分たちにできることから、やってみよう！」と活動をスタートしました。サポーターみんなで、「何ができるか」考えています。「つなぐ」ことも大切です。



ふるさと体験教室

昨年12月3日、高宮地域文化センターにて地域の伝統を次世代へ伝える「ふるさと体験教室」が開催されました。コロナ禍の中で春祭りの伝統を絶やさないために生まれたこの事業は通算4回目の開催となります。

地域の大人達と一緒に、彦根中学校の生徒のみなさんが小学生の対応をしてくれています。中学生自身も以前は教わる側でしたが、イベントの受付から、おもちつきの準備や配布、太鼓や鐘の打ち方を小学生に教える等、様々な役割を担ってくれていました。

後輩へ地域の伝統を伝える担い手となることで自然と地元への愛着も高まっているようです。



高校生になってもボランティアとして参加していきたいです



鳥居本ふれあい交流

(鳥居本学区)



鳥居本中学校1年生は、令和6年2月から3月にかけて福祉について学びました。

地域包括支援センターと彦根市認知症HOTサポートセンターの講師の方から「歳をかさねるといふこと」について学び、シニア体験学習では日常の動きを疑似的に体験し、加齢による身体的な変化について学びました。

そして3月は、学区内の地域のサロンとの交流です。

少しドキドキしながら、はじめは自己紹介と自分たちの学校紹介。

この日の交流をととても楽しみにしてくださったみなさんの温かいまなざしのおかげで少しずつ緊張がほぐれていきました。

そのあとは、カードゲームやしりとりで大盛り上がり！「ルールでがんじがらめにしない」のがポイントです(笑) いつの間にか本気を出して、気が付けばみんなで大笑い……とても素敵な経験でした。

緊張したけど、話しかけてもらってうれしかった。

ゲームの説明とか、自分なりに工夫しました！



昔の鳥居本のことを、教えてくれてありがとう。

あんな風に笑えるよう歳を重ねたいです。

大人だけではなく、子どもが中心となって助け合いの活動に参加できる場や機会が、彦根の中にもたくさんあるといいですね。

彦根市社会福祉協議会では、助け合いや支え合いの活動の立ち上げなどの相談を受け、地域の方と一緒に考えたり、立ち上げに向けてのサポートをしておりますので、ぜひお気軽にご相談ください。

令和6年度

彦根市社協ではこれらの 事業に取り組みます!

基本理念

おたがいさんの関係を築き 「共に暮らせるまち ひこね」を目指します

《災害に強い地域づくり》

- 大規模災害を想定した「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を、地域の協力者（自治会や学区社協、民生委員など）や関係団体・機関と連携して開催します。
- いざという時に備え、災害発生直後の初動期に必要な資機材を整備します。



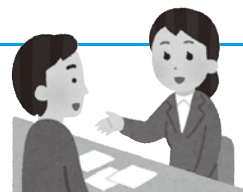
《困りごとや課題を解決していくしくみや体制づくり》

- 地域づくりを推進する「地域支え合い推進員」の中に、地域における困りごとや生活課題・福祉課題に寄り添う「相談支援担当」を新たに配置し、地域と専門機関と一緒に解決していくためのしくみや体制づくりに取り組みます。



《どなたでも利用しやすい「初めの」相談窓口》

- 市民のみなさんが困った時に相談できる窓口を引き続き設けます。
(心配ごと相談、無料法律相談など)



《困りごとを放っておかない体制・支援》

- 行政や相談支援機関とのネットワークを活かした、チームによる支援に取り組みます。
- さまざまな生きづらさがある方へ、アウトリーチなどの支援を実施します。
- 社会とつながりにくい方々が孤立しないよう、参加しやすい場づくりを進めます。
- 高齢や障害などで、ご自身だけで判断することが難しくなった方への生活の相談や支援を行います。



《介護保険・障害福祉サービス事業》

- 住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活できるように、介護保険を利用されるご利用者、ご家族からの要望や日常生活で困っている事をお聞きし、常にご利用者の立場に立って最善のサービスを提供します。

『私たちは、地域に根差した支援を
心がけ、事業に取り組みます。』



令和6年度
(2024年度)

賛助会費にご協力をお願いします

～一人ひとりの思い(寄付)が、多様な「つながり」によって
地域の「暮らし」と「いのち」を守る～

社会福祉法人彦根市社会福祉協議会は、地域の住民、団体、福祉施設、企業などの参加と協力のもと、おたがいさんの関係を築き「共に暮らせるまち ひこね」を目指して地域づくりを進めています。本会の事業推進のため、一人でも多くの方々に賛助会費の納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆賛助会費… 企業・個人ともに **一口 1,000円**

※社協会費へのご協力は、寄付金控除(所得控除)の適用を受けることができます。

賛助会費のご協力ありがとうございました

令和5年度
(2023年度)

<令和5年度実績>

○賛助会費… 1,630,700円

○一般会費… 2,711,600円 (一口 100円)

※令和5年12月1日以降、賛助会費にご協力いただいた方々 順不同・敬称略

ほいくえんものの家だいち 社会福祉法人松風会 社会福祉法人喜創会

(お問合せ先)：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会 総務課

電話：22-2871 FAX：22-2841

あたたかい思いやり♡
ありがとうございました

彦根善意銀行 令和5年12月1日～令和6年2月29日

金銭預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額 (円)
亀甲会	2,758円
レゾナック労働組合彦根清崎支部	47,000円
匿名	2,000円
匿名	5,000円
匿名(指定寄付)	30,000円
榎木 浩	(切手) 2,292円
匿名	(商品券) 3,000円

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品目
ブリヂストン労働組合彦根支部 (指定寄付)	マンガ本106冊
滋賀県グラウンド・ゴルフ協会	車いす2台
山本 枝里子	大人用紙オムツ
榎木 浩	大人用紙オムツ
匿名(9名・団体)	大人用紙オムツ、尿取りパッド、 子ども用紙オムツ等

ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなん
滋賀県レイカディア大学
第46期 学生募集のお知らせ

応募期間：令和6年6月3日～7月31日

応募方法：下記までお問い合わせください

○滋賀県レイカディア大学とは

高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え、高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援するための学びの場です。開校以来約6,700名以上が卒業し地域で活躍されています。

ご応募に関するお問い合わせは

レイカディア大学草津キャンパス：077-567-3901

レイカディア大学彦根キャンパス：0749-21-6333

シニアの皆さん、仲間をつくって
健康寿命を延ばしましょう!



はぴとも基金

寄付総額
1,000万円到達!!

令和3年度にスタートした「子どもの幸せ応援基金（はぴとも基金）」は、個人や企業などからたくさんの気持ちを届けていただきました！

Special Thanks!

基金スタートからこれまでに寄付をいただいた皆さま

平野紗愛、平野綺士、田中智恵子、馬淵晴奈、端崎幸子、北川満寿子、北川弘樹
株式会社キントー、一圓テクノス株式会社、東亜貨物株式会社、株式会社公益社、株式会社橋本建設、
大辻税理士法人、株式会社滋賀ビジコン、リーる整骨院、東亜貨物株式会社、ホンダ販売フタバ(株)、
(株)昭建 金亀公園整備工事(舗装)作業所、(株)GC-tech、株式会社シバタ不動産、アルテミラ株式会社、
滋賀大学サステナクローゼットwithさくらや、カンボジア大地の会、彦根金亀ライオンズクラブ、
城東小S23年3月卒業同窓会一同、彦根商工会議所女性会、四番町スクエア協同組合、
滋賀県立大学環境活動部LEAFS&さくらや、昭和電工株式会社親和会、KazuKazu、
学生服リユースショップさくらや彦根店&(株)ヨシハラクリーニング

※お名前の公表を希望された方のみ掲載しています（敬称略・順不同）

寄付を通した“子どもや子育て世帯の幸せを応援する輪”は広がりを見せています♪

「応援したい」
活動を選んで寄付



はぴとも号

ボランティアさんが
子どもの居場所への
送迎サポート



お弁当配布

学校の長期休
暇中にお弁当
をお届け



受験生
応援セット

がんばれ
受験生!!



ブチクラファン
制度

♪居場所紹介♪

ぴーすほーむ (開催場所：山之脇町)



だれでも参加できる居場所として2023年にスタートしました。
勉強はもちろん、卓球やボードゲーム・カードゲームを楽しむこ
ともできます。子ども文庫もしているので絵本や児童書もあります。
いろんな体験もできるように計画しています。親子で、子ども
だけでも大人でもいろんな世代の人が来て自分なりの時間を過ごし
てもらえたらと思います。

寄付に関するお問合せは、
彦根市社会福祉協議会 地域支援課
(電話：0749-22-2821) まで



4月より「心配ごと相談」の電話番号が変わりました！

＜前の電話番号＞
~~0749-22-0294~~



＜新しい電話番号＞

0749-49-2940

彦根市社会福祉協議会では、どこに連絡すればいいかわからない困りごとの最初の相談窓口として「心配ごと相談」を実施しています。「心配ごと相談」は、どこに相談に行けばよいかわからない時やだれかに話したいけど話しにくい場合に、安心して相談できる場所です。

また、お話を聞く中で専門的な解決が必要と思われる内容であれば、より適切な助言を得られるよう、専門相談窓口の紹介もしています。

以下の時間帯で電話や来会でのご相談に対応します。

◆月～金曜日 10時～12時、13時～16時（ただし祝祭日は除く）

◆電話番号 **0749-49-2940**（上記時間のみの対応となります）



げん あいけんけん り よう ご 『彦愛犬権利擁護サポートセンター』だより



「彦愛犬権利擁護サポートセンター」とは？

彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町にお住いのみなさんを対象に、認知症や知的障がい、精神障がいなどで暮らしに関するいろいろなことを自分自身で決められなくなったとしても、その人らしく住みなれた地域で暮らし続けられるよう、「成年後見制度」などの制度を活用して、関係者ととともにその人らしい暮らしを送る権利を守り（＝擁護し）、“よりよく生きる”お手伝いをさせていただきます。

成年後見制度とは？

認知症や知的障がい、精神障がいなどで十分な判断ができない場合、預貯金の管理等財産の管理や福祉サービスの利用契約などを自分でするのが難しいことがあります。また、その人にとって不利益な契約でも、そのことを判断できずに結んでしまい、悪徳商法の被害にあうおそれもあります。

そういった十分な判断ができない人の希望を聞きながら、財産管理や契約などを行うことでご本人を守り、支援するのが「成年後見制度」です。

成年後見制度は、大きく分けると、「成年後見制度」と「任意後見制度」の2つの制度があります。

◆お問い合わせや「もっと聞きたい」ことなどありましたら、こちらまでご連絡ください◆

彦愛犬権利擁護サポートセンター

〒522-0041 彦根市平田町670

TEL:22-2855 FAX:22-2856

E-mail:kenri-hikone@giga.ocn.ne.jp



令和6年6月号(第228号)から「社協ひこね」のタイトルロゴを一新しました！
『多様なつながりの“わ”がひろがり、彦根に住む人の暮らしやいのちを守る“わ”の中に包まれているようなイメージ』をデザインに込めています。

○点訳版・音声版(CD版)の貸出しを行っています。
○社協ひこねは55,000部作成し、1部当たりの単価は7円(1円未満切捨て)です。
ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれません。
○環境に配慮し、再生紙を使用しています。廃棄する際は古紙回収に出してください。



【お問合せ】
彦根市社会福祉協議会 貸衣装室
直通電話番号
0749-22-1122

【営業時間】
月～金曜日及び第2土曜日
9:00～17:00(祝日除く)
※受付は16:30まで



ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

彦根市社会福祉協議会では、冠婚葬祭に役立つ衣装(和装・洋装)を多数取り揃えています。お客様の大切な日に社協の衣装をお役立てください。

この事業で得た収益は、彦根市社会福祉協議会が推進する地域福祉活動に広く活用しています。

2026年 成人式用振袖の予約開始

【対象者】

平成17年4月2日～平成18年4月1日生

7月1日(月)から2026年の成人式用振袖の予約を開始します。社協では、良質で低価格の振袖を豊富な色や柄で数多く取り揃えております。試着もできますのであなたにピッタリな一枚を見つけてください！色、柄、料金、等、詳しくはホームページまで♪
尚、7月1日は混雑が予想されますので、当日の予約がスムーズに行えるよう、事前の下見をお勧めします。

【展示期間】

6月3日(月)～8月30日(金)



その他のお知らせ

- ☆ 2025年の成人式用振袖の予約も行っています。まだお決まりではない方は、是非お越しください。
- ☆ 新作やイベントなどのタイムリーな情報は、InstagramやX(旧ツイッター)まで。
- ☆ 「貸衣装室まで行くのはちょっと…」と迷っている方は、ホームページで商品をチェック(^_-)☆

価格表

	種 類	利用料金(税込)
女 性	留袖	6,000円～28,000円
	訪問着	9,000円～22,000円
	振袖	30,000円～50,000円
	中振袖	7,000円～10,000円
	袴	5,000円
	喪服・ブラックフォーマル	5,000円
男 性	洋装(慶事用)	2,000円～9,000円
	紋付羽織袴	10,000円
	モーニング	8,000円～10,000円
	略礼服・スーツ	5,000円
子 ども	祝着	6,000円
	七五三	7,000円～9,000円
	男児スーツ	2,500円～4,000円
	女児ドレス・スーツ	2,500円～4,000円

七五三衣装の常時展示

【展示期間】

9月2日(月)～11月29日(金)

七五三衣装のご予約はもうお済みですか？当会の衣装はフルセット価格となっています。お子様の寸法に合わせてレンタルしているので、ご自宅での着付けも可能！ご予約いただいた方には、着付け動画をYouTubeにて公開しています。



※次号の発行は、10月1日の予定です。

社協ひこね

2024年(R6)6月 第228号

編集発行/社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
〒522-0041 彦根市平田町670
TEL: 0749-22-2871 FAX: 0749-22-2841
ホームページ: <http://www.hikone-shakyo.or.jp>
E-mail: soumu@hikone-shakyo.or.jp

最新情報をタイムリーにお届け！



この広報紙の一部は、「赤い羽根共同募金」の助成金や皆さまからの会費で作成しています